

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
アートセラピー I Art Therapy I		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	( )	メディカルユニット履修者
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
音楽セラピー				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
栃木美保	講義棟1階 講師室	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
様々な素材や表現に触れ、自ら表現をする体験を通して、創造性やイメージの豊かさ、又幅広い人間性の向上を図る。造形表現により自己表現を磨き、感性を高める。				
授業の目標				
①自らのアイデアを形に表現する色々な方法を表現できるようにする。 ②創造する過程で試行錯誤を重ね、豊かな思考力および、表現力が身につくようにする。 ③作品鑑賞の理解と豊かな感性を育む事ができるようにする。 ④創造する喜びを得る事でメンタルヘルス、ストレスケアに役立てる事ができるようにする。				
授業の方法				
講義、実習による造形表現、作品鑑賞を通し、様々貢献な素材の表現を試みる。				
学習の成果（学習成果）				
①講義や造形表現の体験を通して、表現の喜び、創意工夫、鑑賞する楽しみを身につける事ができる。 ②素材や表現方法の多様性を知ること、感性を高め精神的な豊かさを得、メンタルヘルス、ストレスケアに役立てることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション 造形表現とセラピーの関係 色彩について カラーヒストリー			
第2回目	フロッターージュによる配色表現			
第3回目	アートセラピーの実際 絵画療法の実験体験			
第4回目	五感について 環境における香りの利用法			
第5回目	名刺入れ制作 ①			
第6回目	名刺入れ制作 ②			

第7回目	アートセラピーの実際 絵画療法の実験体験	
第8回目	BOX表現① クリアボックスに季節の表現	
第9回目	BOX表現② クリアボックスに季節の表現	
第10回目	BOX表現② クリアボックスに季節の表現 講評会	
第11回目	作品鑑賞について 各自の制作作品の講評会	
第12回目	空間を彩るオーナメントを各自のアイデアをもとに制作 ①	
第13回目	空間を彩るオーナメントを各自のアイデアをもとに制作 ②	
第14回目	空間を彩るオーナメントを各自のアイデアをもとに制作 ③	
第15回目	作品講評会 展示について	
事前・事後学習	美術や工芸品などを楽しむ機会を作る。	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	40%	課題の内容を考え、制作にまじめに取り組む。アイデアを形に表現する努力をする。
レポート		
調査報告書		
小テスト		
試験		
発表内容（態度含む）	60%	作品提出 独創性のある表現を試み、表現の意図を伝える努力をしている。
その他		
教科書と参考図書		
配布資料		
履修上の留意点・ルール		
<p>●実務経験（美術家：アートセラピスト アロマセラピーインストラクター 職歴：20年） 積極的に授業に取り込む。授業の進行、他者に迷惑になる行為は禁止。遅刻厳禁。授業中携帯電話使用禁止。 材料費に5,000円程度必要（集金は授業の中で）</p>		